

研究に関する情報公開について

下記の研究は、福岡大学人を対象とする研究倫理審査委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。
インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第4章 第8.1に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	先天緑内障に対する治療成績
研究期間	病院長の許可日 ～ 西暦 2027年12月31日
研究責任者	眼科 准教授 尾崎 弘明
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> ：新たな情報を取得する場合 病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日 <input checked="" type="checkbox"/> ：既存試料・情報を利用する場合 ■後向き期間：西暦 1991年04月01日 ～ 西暦 2026年12月31日 <input type="checkbox"/> 前向き期間：病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日
研究対象者	1991年4月から2023年10月までに当科を受診された先天緑内障に対して手術を行い6か月以上経過観察を行うことのできた症例
研究の意義と目的	先天緑内障は3歳児未満の発症の非常に稀な発達緑内障であり、疾患の発症の時期が視力の発達時期と重複するために視力予後は極めて不良とされています。先天緑内障に対する治療加療は眼圧コントロールが重要ですが、手術後の視機能の発育に関しての屈折矯正等でのケアも肝要です。 先天緑内障に対する治療成績はこれまでの報告は非常に少なく、そのために手術後の経過に関する情報は乏しいため患者さんへの説明に難渋するのが現状です。今回は福岡大学病院において手術加療を行った症例について検討し、その発症時の特徴ならびに視力予後に関する危険因子を検索して適切な手術時期を検証します。
研究の方法	先天緑内障の診断は角膜所見、眼圧、眼底所見によって判断します。 評価項目：各症例の背景について、年齢、性別、視力、眼圧、角膜径、眼底所見を検討します。また、最終視力予後と治療前の種々の因子との相関関係を検討し、視力予後に関与する因子を検証します。視力の評価はLogMAR視力で0.2以上の変化を有意とし、視力予後に関与する因子を検討する。
研究に用いる試料・情報	診療情報
試料・情報の提供先	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
試料・情報の提供元	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
情報管理責任者又は名称	眼科 准教授 尾崎 弘明
研究のための試料・情報を利用する者	本学：人を対象とする研究倫理審査委員会承認され病院長から許可された研究者
個人情報の保護	収集した情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

<p>研究協力の任意性と撤回の自由</p>	<p>この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への情報の利用を断っても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
<p>試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について</p>	<p>患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>所属：眼科 担当者名：尾崎 弘明 電話番号：092-801-1011 対応可能日及び時間：平日9：00-17：00</p>